

## 北経連

# 「女性起業」支援で調査へ

## MEX 金沢 中小向けブリース確保も

北陸経済連合会は、地場企業の支援・育成を強化する。女性の起業家創出に向けた調査を本年度新たに実施するほか、十八日から金沢市で開かれる第四十四回機械工業見本市(MEX金沢)に初めてブリースを確保して地元中小企業に使用してもらい、販路拡大活動を後押しする。

一連の事業は、産学官

連携で新産業・新技術の創出を目指す「STC事業」の中で取り組む。

民間調査機関が調べた別の女性社長の比率は、富山が全国で二十位

台、石川、福井が四十位台と低い。北経連は経営者を目指す女性への支援を重要課題の一つと位置づけ、女性起業家支援は、調査研究機関の北陸産業活性化センター(金

沢市)と連携して行う。

活性化センターは一九九九年、二〇〇〇年度に北陸三県のベンチャーを対象に実態調査を実施しており、その後の検証・追跡調査として女性起業家や大学発ベンチャーなどを取り上げる。具体的な調査項目などは近く検討する。結果は報告書にまとめる方針だ。

北経連が四月に金沢市で開いた会員交流会「STCサロン」で、シアードエス(金沢市)の萩原扶未子社長が、昨年度石川県内で開かれた起業関連セミナーへの女性出席者を対象にした調査結果を報告。これを受け、活性化センターが富山、福井両県に調査対象を拡大する。

MEX金沢のブリース確保は、出展資金に余裕が

ない中小企業などの費用負担を軽減。産学官連携で生まれた商品などを展示する。こうした企業は自社商品をアピールする機会が少なく、展示会への参加を増やして事業推進を手助けする。

(坂本正範)